

プレオープン

三月二十三日、改修仕事を終えた博物館が、同校の児童たちに一足早くお披露目されました。式典では、関係者が見守る中、五年生の塚田沙希さんが「総合学習などで利用したいと思います。博物館を新しくしていただき、ありがとうございます」と委員会の方々に挨拶を述べました。

リニューアルオープンを心待ちにしていた児童たちは早速博物館に足を踏み入れると、たくさん並んだ展示物に驚いた様子で「広くて、前と全然違う」、「すごくきれい」などとはしゃぎながら館内を見学しました。改修後の博物館は、展示室の広さが約二倍になり、天井も高いため広々とした印象を受けます。豊羽鉦山の鉦石や森林技術センター（旧定山溪営林署）から譲り受けた昆虫標本など、以前の博物館には無かった展示資料もいろいろで、児童たちは興味深げに観察していました。



▲これで料理を作っていたんだね

▼定山溪温泉博物館で思いを語る松井委員長



定山溪の郷土を知ってもらいたい。定山溪の郷土を知ってもらいたい。二つの博物館以外にも、定山溪ダム資料館や豊平峡ダムミュージアム『ひふみはなめ』といった施設と併せ、多くの人に定山溪の素晴らしさを体感してもらいたいですね」と感慨深げに話しました。



◀昆虫や樹木の標本を見学



◀実物の鉦石をじっくり観察

サテライト

定山溪観光協会に併設されている「定山溪温泉博物館」は、今回、郷土博物館のサテライト施設として位置付けられ、展示内容の見直しを行いました。今までは、昔の温泉街の写真や旅館の調度品などの展示物が中心でしたが、郷土博物館に展示しきれない、定山溪鉄道や生活用品などの資料を増やしました。

改修後、それぞれの博物館について、定山溪郷土博物館運営委員会の松井紀男委員長は「定山溪連合町内会をはじめ、多くの方たちのおかげで立派な博物館になりました。今までにない、新しい資料もたくさんあるので、市民はもちろん、観光客にも見学してもらい、定山溪の郷土を知ってもらいたい。二つの博物館以外にも、定山溪ダム資料館や豊平峡ダムミュージアム『ひふみはなめ』といった施設と併せ、多くの人に定山溪の素晴らしさを体感してもらいたいですね」と感慨深げに話しました。



▲鳥観図や写真が並ぶ定山溪温泉博物館

●定山溪郷土博物館（詳細：定山溪観光協会 ☎ 598-2012）

- ・本館
所在地：南区定山溪温泉東4丁目308番地（定山溪小学校敷地内）
見学時間：午前9時～午後4時
開館期間：5月～10月末
入館料：無料
利用方法：定山溪観光協会または、じょうてつバス定山溪案内所で利用申込書に記載の上、鍵を受け取り各自で開錠し見学。見学後は鍵を借りた施設へ返還。
鍵貸出時間：午前9時～午後3時30分（午後5時まで返還してください）



・サテライト（定山溪温泉博物館）

- 所在地：南区定山溪温泉東3丁目222番地（定山溪観光協会事務所内）
見学時間：午前9時～午後5時
休館日：年中無休（年末年始を除く）
入館料：無料



※定山溪小学校敷地内に、駐車場はありません。車でお越しの方は、「スポーツ公園内公共駐車場」に駐車の上、見学してください。

・じょうてつバス案内所
南区定山溪温泉東4丁目314番地1

